

(公印省略)

事務連絡
平成20年5月13日

会員各位

(社)福岡県産業廃棄物協会
事務局

「九州環境技術創造道場」平成20年度受講生募集について（お知らせ）

拝啓、新緑の候ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記について北九州市環境局環境経済部から別紙のとおり募集の案内がありましたのでお知らせ致します。

ご参加を希望される方は、別紙申込書にご記入のうえ、開催事務局宛ご郵送または、FAXにてお申込み頂きますようお願い致します。

記

- 1 講義期間 平成20年7月～平成21年2月
- 2 会場 北九州ハイツ
(北九州市八幡西区的場町1-1 TEL093-631-5582)
- 3 講義概要 別紙のとおり
- 4 申込締切日 平成20年5月27日(火)
- 5 お申込先
開催事務局
・ 特定非営利活動法人 環境創造研究機構
TEL/FAX 092-725-9300
(担当：古賀)

・ 北九州市 環境局 環境産業政策室
TEL 093-582-2630
FAX 093-582-2196
(担当：肥塚、河原)



「九州環境技術創造道場」

平成 20 年度受講生募集

～廃棄物技術の専門実務家の人財育成～

1 趣 旨

本市が進める「美しき世界の環境首都」づくりの一環で、優れた環境人財の創出を目的とする「九州環境技術創造道場」を昨年度に引き続き開催します。

この道場で育成する人財は、環境、特に廃棄物分野での幅広かつ実務的な専門知識を有する気概のある技術者であり、受講後は主として九州地域ひいてはアジアの廃棄物問題の総合的な技術者、環境ビジネスのリーダーとしての活躍を期待するものです。

講義では、「水文学」「地質学」「土壌学」「微生物学」「水処理工学」等の学問分野を基礎に、処分場管理・再生、環境修復などの技術について、国内外の最先端の情報を取り入れながら講師との合宿形式による少数精鋭の講義及び討論を行うこととし、エコタウン及び北九州地域のフィールドを最大限活用すると同時にコーディネーターとしての人格の陶冶に励むこととします。

講師陣には、本市エコタウンの有する人的ネットワークを活かして、国内でも有数の、大学・民間企業等の技術者を招き、知識偏重教育ではない双方向での討議・交流を行うことで、新たな視点でのビジネス創造や技術開発、環境政策に長けた人財育成が可能となります。

将来的には、循環型社会の構築に資する3R(リデュース、リユース、リサイクル)や中間処理の技術など、多分野での人財育成も目指すこととしています。

2 特 色

- 主に九州、アジア地域での廃棄物分野の専門技術者を育成
- 北九州エコタウンを中心とした地域の諸施設を活用
- 一流講師陣による大学院レベルの質の高い講義
- 少数精鋭でのゼミ形式(レポート、自主研究重視)による充実した講義内容
- 廃棄物・土壌汚染等に関する先進かつ実用性の高い技術の習得、施設見学
- 講師との双方向討議により発想力、考察力を育成
- 修了後には「九州環境技術創造道場」会員となり、会員間ネットワークの活用、講師陣への継続的相談が可能

3 これまでの成果

- 民間・行政から86名が受講し道場を修了(⑩19名、⑪22名、⑫19名、⑬26名)
- 道場修了後においても、修了生が新聞(九州環境技術創造道場新聞)を作成するなど、相互交流を継続
- 道場修了後、講師と受講生が所属する企業との間で共同研究が実現

4 概 要

- (1) 名 称 「九州環境技術創造道場」
- (2) テーマ 「廃棄物管理を中心とした総合環境技術」
- (3) 主 催 北九州市
- (4) 道場長 花嶋 正孝（福岡大学名誉教授）
- (5) 運 営 特定非営利活動法人 環境創造研究機構
- (6) 会 場 北九州ハイツ
北九州市八幡西区的場町 1 - 1
TEL 093-631-5582
- (7) スケジュール 平成 20 年 7 月 25 日(金) ～ 7 月 27 日(日) 第 1 回講義(開講)
平成 20 年 8 月 29 日(金) ～ 8 月 31 日(日) 第 2 回講義
平成 20 年 10 月 30 日(木) ～ 11 月 1 日(土) 中国視察(杭州)
平成 20 年 11 月 14 日(金) ～ 11 月 16 日(日) 第 3 回講義
平成 21 年 1 月 30 日(金) ～ 2 月 1 日(日) 第 4 回講義(閉講)
- (8) 受講にかかる費用
受講料 80,000 円/年(全 4 回分)
(受講料は一括納付制[一部受講不可])
宿泊費(北九州ハイツ) 17,000 円/回程度 [2泊3日全6食]
現地視察費 交通費・宿泊費等(中国視察[予定])
その他 会場(北九州ハイツ)までの交通費等
- (9) 受講資格 主として九州地域の環境関連企業に従事する若手技術者及び自治体職員等。
- (10) 募集人員 20 名程度
- (11) 申込方法 別紙の受講申込み表に必要事項を記入のうえ、郵送または FAX にて事務局へ提出。
- (12) 申込期間 平成 20 年 5 月 2 日(金) ～平成 20 年 5 月 27 日(火)
- (13) その他 受講生の決定にあたっては、提出された受講申込み表をもとに年齢、経歴、意欲等について道場長、運営委員が審査し、決定された受講生には後日受講料の納付時期、納付先等を連絡します。また、申込者全員に審査結果を通知します。

事務局

●特定非営利活動法人 環境創造研究機構
〒810-0041 福岡市中央区大名 2-10-4 D棟 807号
TEL/FAX 092-725-9300 担当：古賀

●北九州市環境局環境産業政策室
〒803-8501 北九州市小倉北区域内 1-1
TEL 093-582-2630 FAX 093-582-2196
担当：肥塚、河原

平成20年度 九州環境技術創造道場 講義日程表

日程	コマ	時間	第1回 H20.7.25-27 最終処分場Ⅰ 閉講式	第2回 H20.8.29-31 土壌汚染・有害物質	第3回 H20.11.14-16 最終処分場Ⅱ	第4回 H21.1.30-2.1 新技術・灰処理、まとめ	
1 日目	午前 1	10:30	1 持続型社会概論 【岡本】	1 土壌汚染の現状 (土壌汚染の現状、カースト等) 【伊藤】	1 浸出水処理システム 【牛越】	1 これからの最終処分場 (WQW・早期安定化技術・再生・資源活用) 【樋口】	
	2	13:00	2 最終処分場システム 【樋口】	2 法律 (土壌汚染における紛争事例-法律の解釈等) 【山本】	2 しゃ水工 【押方】	2 クロースドシステム処分場 【押方】	
	午後 3	14:40	3 廃棄物工学基礎 ①地盤工学 【渡辺】	3 汚染土壌の調査・対策 (調査法、対策、新技術) 【伊藤】	3 モニタリング (ガス、粉塵等) 【長野】	3 塩類対策と再利用 【牛越】	
	4	16:20 17:50	②水文地質及び物理探査(地下水) 【渡辺】	4 汚染土壌と微生物 (汚染とDNA、バイオ浄化) 【谷口】	4 既設最終処分場の適正化 【興梧】	4 廃棄物物流 【川崎】	
2 日目	グループ討議			グループ討議	グループ討議	グループ討議	
	午前 5	8:30	③演習 【渡辺】	5 地下水汚染 (地下水理、汚染メカニズム、解析例) 【伊藤】	5 廃棄物処分場の維持管理 【上田】	5 溶融、焼成 【長田】	
	6	10:10	④環境化学(バイオ、POP等) 【堀井】	6 不法投棄等による環境汚染 (現状、調査、対策、支援体制等) 【和田】	6 海面埋立 【島岡】	6 中国の廃棄物管理 (都市ごみ処理の現状と今後の方向性、埋立ガスO ₂ 化事業について) 【龍】	
	7	12:40	⑤環境土壌学 【島岡】	7 原状回復事業 【猿田】	7 現地見学及び講義 ・新日鐵北九州環境技術センター ・福岡大学資環研 ・廃棄物研究施設 ・その他実証研究エリア施設 【羽島、樋口】	7 韓国の廃棄物管理 (都市ごみ処理の現状と今後の方向性) 【李】	
	午後 8	14:20	⑥重金属類の処理 【細田】	8 リスクマネジメント (企業リスク、情報開示、土地売買等) 【山本】	8 立地と環境アセスメント 【樋口】	8 プレゼンテーション (受講生論文発表)	
	9	16:00	⑦演習 【堀井、島岡、細田】	9 演習 ①事例対応、企業リスクマネジメント 【山本】			
	9	17:30	グループ討議	グループ討議			
	3 日目	10	8:30	4 埋立地の安定化 ①安定化システム(1) 【高岡】	②事例対応・調査、対策と技術 【伊藤】	9 討議	9 討議
		11	10:10	②安定化システム(2) 【堀井】	10 討議 【花嶋、伊藤】		
12:00		解散	解散	解散	閉校式(修了証書授与等)		

*中国杭州視察(平成20年10月30日～11月1日)

九州環境技術創造道場 受講申込み表

受講者氏名等	
氏名	_____
性別・年齢	_____ 男 女 (_____ 歳)
所属団体	_____
部署・役職	_____
業種 ^(注)	_____
住 所	〒 _____
TEL	_____
FAX	_____
E-MAIL	_____
緊急連絡先 (携帯電話など)	_____
TEL	_____
E-MAIL	_____
(注) 業種：簡潔にお書き下さい。例) コンサルタント、廃棄物処理、自治体等	

※ 受講希望者が多数の場合、以下の内容により選考いたしますので、できるだけ詳しく記入をお願いいたします。

1	<u>これまでの経歴</u> (最終学歴、職歴など。特に廃棄物処理・管理、最終処分場に関する経歴については詳細に記述のこと)
2	<u>受講により習得したい主な課題</u>
3	<u>受講修了後における技術活用方策</u>

◎なお、上記の個人情報については、本道場受講における選考及び連絡等においてのみ取扱い、その他の目的には一切使用致しません。

